



FEBRUARY 6, 2020, TOKYO, JAPAN

U.S.-JAPAN LNG WORKSHOP

世界最大の液化天然ガス(LNG)輸入国である日本にとり 2019 年は、米国産 LNG が日本に導入されてから 50 周年を迎えた節目の年でした。

近年、アジアでのエネルギー需要の拡大が確実視されるなか、日本では LNG 産業の裾野を広げるためにさらなる資金支援が表明されるなど、LNG はその重要性を増しています。日米両政府がエネルギー分野でのパートナーシップをよりいっそう深め、LNG インフラ事業の促進や世界規模での LNG 需要の拡大を後押しする今日の状況において、米国産 LNG もまた日本がエネルギーの安定供給を確保するための非常に重要な供給源であります。LNG の環境特性、米国 LNG が提供し得るフレキシブルな契約条項、第三国インフラ投資事業等のビジネス機会の創出など、日米が協力し合える分野は数多くあります。

今般、米国大使館は LNG 事業に従事する主要な日米関係者をお招きし、相互理解を深め、対話を促進することを目的として“U.S. – Japan LNG Workshop”（日米 LNG ワークショップ）を開催します。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

ワークショップ概要

- イベント名： U.S.-Japan LNG Workshop（日米 LNG ワークショップ）
- 日時： 2020年2月6日（木）
受付：13:00～13:30
ワークショップ：13:30～17:50（予定）
レセプション：17:50～19:30（予定）
- 会場： 東京ホテルオークラ “L'étoile”（41F）
- 主催： 米国大使館商務部
- 協力：米国大使館経済部、米国商務省、米国エネルギー省、経済産業省資源エネルギー庁
- 参加者（米国）：LNG生産・販売者、建設(EPC)業者、関連サプライヤー、研究機関、業界団体
- 参加者（日本）：電力事業者、ガス事業者、貿易商社、海運業者、建設(EPC)業者、金融機関、政府関係者、研究機関、業界団体
- プログラム（予定。日英同時通訳あり）
 - 日米政府による基調講演
 - 米国企業紹介
 - ワークショップ（下記の3セッションを予定）
 1. What Unique Proposition Can U.S. Shale-LNG Bring to Japan?
 2. Moving Forward for Mutual Benefit—What Can Be Improved Upon to Enhance U.S.-Japan LNG Collaboration?”

3. Prospects for Japan-U.S. LNG Collaboration in Third Countries?

-ネットワーキング・レセプション

参加申し込み（会場が定員になり次第、締め切らせていただきます）

米国大使館商務部 鈴木貴彦

takahiko.suzuki@trade.gov

TEL: 81-(0)3-3224-5076